

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：野田 勝

事業の概要

事業名	地域高規格道路 I Cアクセス (町) 準幹4号線 (仮称) 白帆台 I C	事業区分	地方道	事業主体	石川県内灘町
起終点	自：石川県河北郡内灘町字宮坂 至：石川県河北郡内灘町字宮坂	延長	0.4 km		

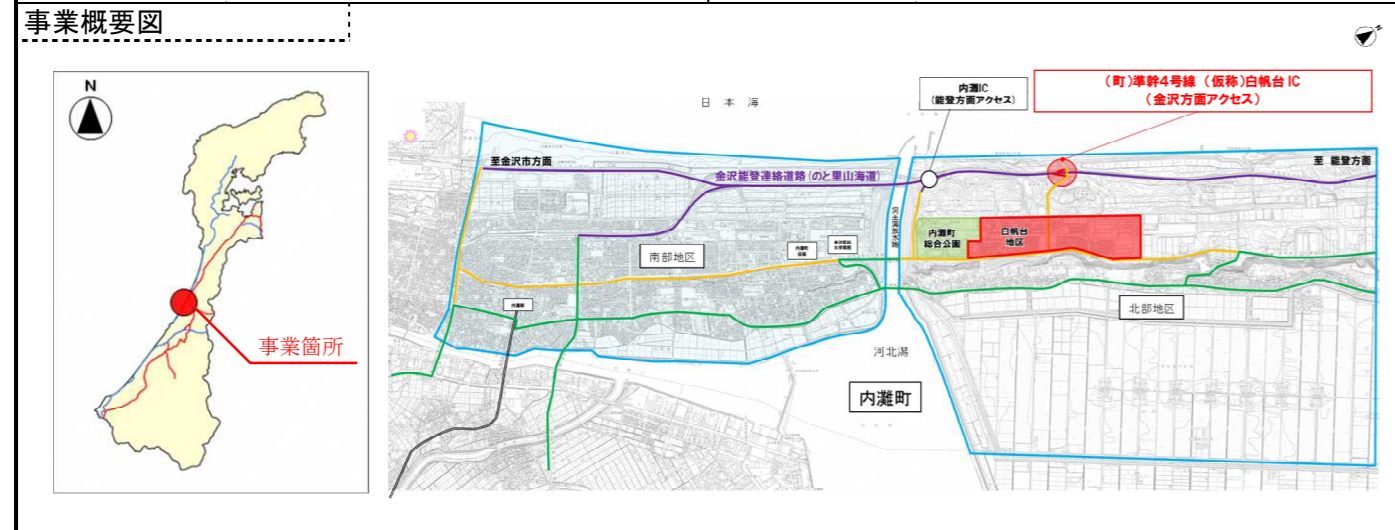
**事業概要**

(町) 準幹4号線は、地域高規格道路 金沢能登連絡道路の(仮称)白帆台 I Cへ接続し、内灘町北部地区から金沢方面へのアクセス性の向上や住民生活の安全・安心を図るアクセス道路整備である。

**事業の目的、必要性**

当該事業の整備により、内灘北部地区から金沢方面へのアクセス性が向上され、北部地区の定住促進や災害時の避難経路拡大、既存施設の利用促進のほか、内灘町内の幹線道路における渋滞緩和、交通事故削減が期待される。

全体事業費	約2億円	計画交通量	2,800台/日
-------	------	-------	----------



**関係する地方公共団体等の意見**

地域住民で構成される北部開発促進協議会等から早期整備の要望されている。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

—

**事業採択の前提条件**

費用対便益：便益が費用を上回っている。  
手続きの完了：地元自治体や地元団体から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.7	総費用：8.5億円 事業費：7.2億円 維持管理費：1.3億円	総便益：1.4億円 走行時間短縮便益：1.3億円 走行経費減少便益：0.01億円 交通事故減少便益：0.63億円	基準年 平成30年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.5 (交通量 -10%)	B/C= 1.8 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C= 1.5 (事業費 +10%)	B/C= 1.8 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C= 1.6 (事業期間 +20%)	B/C= 1.7 (事業期間 -20%)		

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎
事故対策		○	・現道区間の事故多発箇所における交通事故件数の削減 【交通事故の状況】 現道区間の死傷事故率 195件/億台キロ > 107件/億台キロ (国内の一般道路における平均死傷事故率) ※H29.1.1~H29.12.31
歩行空間		—	・注目すべき影響は無い
社会全体への影響	住民生活	○	・内灘北部地区から金沢方面への所要時間が短縮され、周辺道路環境の向上が見込まれる。
	地域経済	○	・内灘北部地区の定住促進による住宅需要の増加が見込まれ、地域経済の活性化に寄与
	災害	◎	・金沢能登連絡道路（第1次緊急輸送道路）に接続することで、災害時の避難・救助活動に寄与
	環境	—	・注目すべき影響は無い
	地域社会	◎	・交通の利便性向上による内灘北部地区の定住促進 ・金沢方面から内灘北部地区へのアクセス向上により、権現森海水浴場等の豊かな自然、内灘町総合公園内のスポーツ・レクリエーション資源の利用促進に寄与
事業実施環境		○	・地域住民で構成される北部開発促進協議会等から強い要望を受けている。

採択の理由

事業主体である石川県内灘町が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.7と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、内灘北部地区の定住促進や災害時の避難経路拡大、既存施設の利用促進のほか、内灘町内の幹線道路における渋滞緩和、交通事故削減に寄与することから当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。  
以上より、本事業を平成31年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。